

科目名	生涯教育	
担当者	志賀 玲子 / SHIGA, Reiko	
科目情報	教養科目 2 群 / 選択 / 前期 / 講義 / 2 単位 / 1 年次	
科目概要	授業内容	「学ぶ」ということの意味を考えながら、生涯教育・生涯学習の内容・方法・環境・問題について解説する。そして、生涯教育・生涯学習の観点から、これまではどのような状態だったか、これからの人生をどう歩むのか、自分自身を見つめ直してもらう。
	到達目標	①生涯教育・生涯学習に関する基礎知識を身に付ける。 ②豊かな人生とはどのようなものか、大学生はどのような時期か、社会を逞しく生き抜くにはどのような力が必要か等、生涯における人間形成と自己について考える習慣をつける。
授業計画	(1) 学ぶということ (2) 生涯学習の概念と生涯教育の捉え方 (3) 生涯の各時期における学習課題 (4) 生涯設計と大学生活 (5) おとなの学びと学習方法 (6) 学習成果の評価と活用 (7) 生涯学習社会における学校・家庭・職場・地域 (8) 社会教育・生涯学習政策の歴史的展開 (9) 生涯学習の施設 (10) 生涯学習の団体と人的支援 (11) 生涯学習の現代的課題 (12) 生涯学習論と学習権 (13) 世界の生涯学習 (14) 生涯学習のネットワーク (15) 総まとめ	
自学自習	事前学習	・「使用教材・参考文献」を前もって読んでおくこと。 ・意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。
	事後学習	・参考文献と毎回のレジュメをもとに、生涯学習社会において自分はどのように過ごしていくのか考察しておくこと。
使用教材・参考文献	【教】教科書は特に指定しない。プリントを配布する。 【参】関口礼子他著『新しい時代の生涯学習』有斐閣 2002年 堀薫夫・三輪健二編著『生涯学習と自己実現』放送大学教育振興会 2006年 ほか、適宜、紹介します。	
成績評価方法と基準	毎時、積極的にコメントを記入して、自分で考え実践する姿勢を示し、定期試験で基礎知識の習得を確認できた場合に合格とする。(出席態度45%、コメント15%、テスト40%)	
備考	将来の進路選択の際には、自己を分析して内面を高めようとする習慣がないと苦勞するが、あれば円滑に進む。そこで、その足がかりとするために、どの時間も有効に使って、真剣に前向きに自分と向き合ってもらいたい。 『読書』課題は、それを踏まえた問題を筆記テストの一部に出題する。詳細は、初回の授業で説明する。	